

地中熱・地下水熱利用の見学可能施設が増加

山形市内、群馬県内など

開業から1年で約3千人が見学した東京スカイツリー地区地域冷暖房施設でも注目されている地中熱利用ヒートポンプシステムは、着実に設置件数を伸ばしている。東京スカイツリー以外にも見学が可能な施設も増えており、関心を寄せる関係者には良い参考となりそうだ。その一部を紹介する。

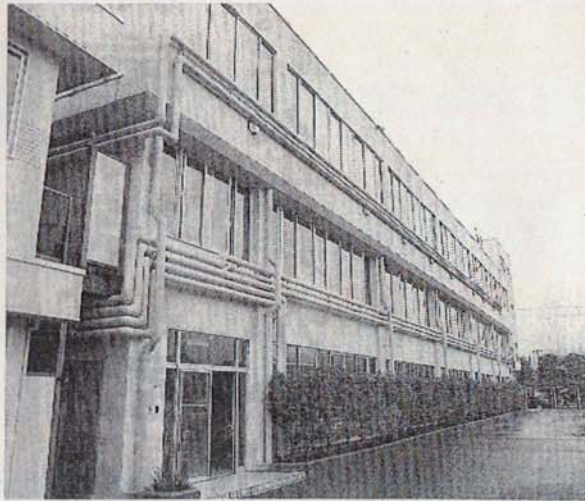
(名古屋通信)

水・土のエネルギーを生かす社会へ

▶▶30

山形県環境学習支援団体の日本地下水開発

無散水式融雪施設を含め、地中熱、地下水熱利用を手掛ける日本地下水開発(山形市、023・688・6000)は、12年に山形県環境学習支援団体に認定され、同社が自ら実施しているシステムを公開している。公開日は、月曜日から土曜日



山形県環境学習支援団体の日本地下水開発の本社社屋

この見学ができる。

見学可能7施設を紹介・北関東地中熱研究会

の午前9時〜午後5時。1週間前までに申し込む

群馬県を中心に地中熱利用ヒートポンプシステムの普及促進を図る北関東

導入時の参考に 環境学習の場にも活用



ポアホール式のシステムを導入した、地水環境コンサルの和田社長

東産官学研究会地中熱利用研究会(群馬県桐生市、0277・46・1060)も、施設の見学をホームページで受け付けている。

見学可能な施設は7カ所。クロードループ方式では、地水環境コンサル(群馬県玉村町)、群馬電機(同みどり市)、積水化学工業群馬工場(同伊勢崎市)の3カ所。オープンループ方式で

地域組織も積極的に情報提供

また、北関東地中熱研究会のように地域単位で普及促進活動を進める組織も増えている。山梨県地中熱利用推進協議会(<http://ygha.biz>)、岐阜地中熱利用研究会(事務局・テイクコ、0588・242・3114)、長野県地中熱利用促進協議会(0267・56・1209)、新潟県地中熱利用研究会(<http://www.igeoh.jp>)、あきた地球熱利用事業ネットワーク(<http://www.akita-kenmin.jp/tikyuu-net>)、あおもり地中熱ホームページ(http://www.pref.aomori.lg.jp/sangyo/energy/geo_index.html)などがあり、見学の受け付けなどは明記していないが、地中熱・地下水熱利用の情報を提供しており、参考になる。